

環境対応型高性能重防食塗装システム

テクトセーフティ工法

弱溶剤可溶『エポキシ+ウレタン』塗装システム

テクトセーフティ工法 U

弱溶剤可溶『エポキシ+ふっ素』塗装システム

テクトセーフティ工法 F



テクトセーフティ工法とは、 環境保全をしっかりと見据 えた、新しい概念の弱溶剤 可溶塗装システムです。

●
環境対応はこれからの塗料を語る上で、最も大切な機能として注目されてきています。

関西ペイントでは、この環境への取り組みとして、近年話題になることの多いVOCや環境ホルモン、そしてPRTR法指定化学物質などを大幅に削減した塗料の下塗・中塗・上塗をシステム化し、あらたにテクトセーフティ工法として設計・開発しました。

環境対応型高性能重防食塗装システム、 テクトセーフティ工法の特長。

人と環境にやさしい設計です。

人体などの正常なホルモン作用に悪影響を与える「環境ホルモン（内分泌かく乱化学物質）」として疑われている有害化学物質のノニルフェノールやビスフェノールAを含まないエポキシ（業界初!!）とトルエン・キシレン・鉛等を含まないウレタンを組み合わせたシステムの「テクトセーフティ工法U」、同じくシロキサン架橋型ふっ素（業界初!!）を組み合わせたシステムの「テクトセーフティ工法F」は双方共、人と環境に配慮しています。

優れた耐久性を発揮！

「テクトセーフティ工法U」は、素地への浸透効果にすぐれたエポキシと、耐候性に優れたウレタンとの組み合わせ、「テクトセーフティ工法F」は、抜群の耐候性を有したシロキサン架橋型ふっ素との組み合わせで、どちらも優れた塗膜耐久性を発揮します。

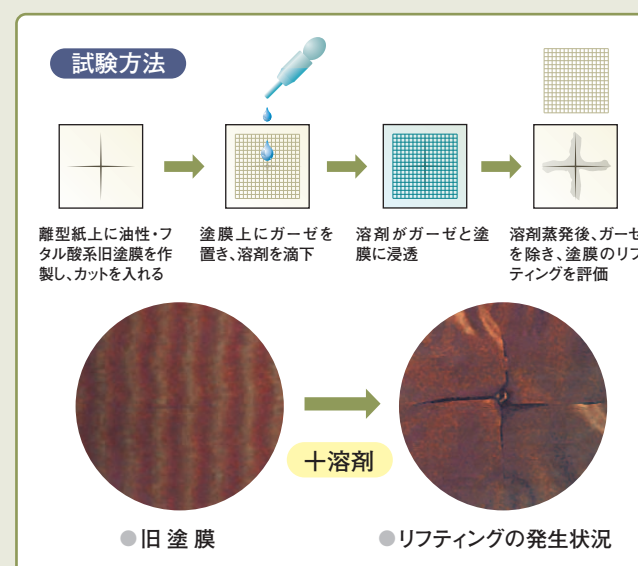
旧塗膜適性が大幅にアップしました。

旧塗膜（実在塗膜）の種類によってはリフティング（ちぢみ）現象が生じる強溶剤タイプとは異なり、旧塗膜適正の幅を広げました。

各種素材への適正に優れています。

鉄素地はもちろん、亜鉛めっき、ステンレス、アルミニウム、コンクリートにも適性があり、素材を選びません。

■脆弱面的適性（ラボによる再現試験）



■旧塗膜適性（塗替えにおけるリフティング:実物件）

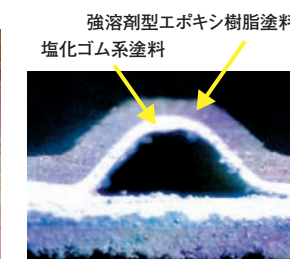
旧塗膜：下塗 エポキシ樹脂塗料、
中塗・上塗 塩化ゴム系塗料

塗替塗料：強溶剤型エポキシ樹脂塗料下塗

●チヂミ発生塗膜



●断面写真



高い耐久性と自在な塗装設計を誇る、
テクトセーフティ工法の優れた性能。

テクトセーフティ工法 U

塗膜性能

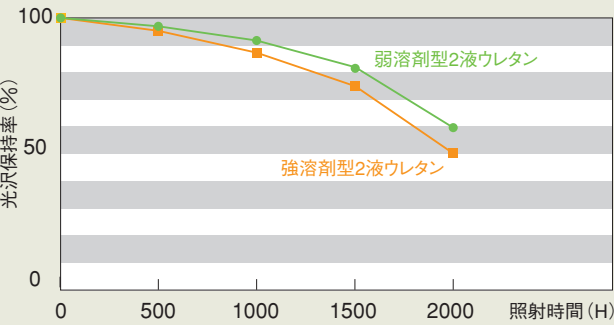
試験項目		要求レベル	TS工法 U	強溶剤 システム	
単 独 膜	下 塗	乾 燥 性	半硬化 (20℃) 2H以内	○	○
		耐屈曲性	φ10mmの折り曲げに耐えうること	○	○
		耐衝撃性	1/2in×300g×500mm 異状なし	○	○
	上 塗	仕上がり性	60度鏡面光沢度 (%)	84	85
		乾 燥 性	半硬化 (20℃) 8H以内	○	○
		耐屈曲性	φ10mmの折り曲げに耐えうること	○	○
		耐衝撃性	1/2in×300g×500mm 異状なし	○	○
工 程 膜	各種素材適性		各種素材に安定した付着性を有すること	○	△
	耐塩水噴霧性		1000H 異状なし	○	○
	耐アルカリ性		飽和Ca(OH) 2溶液 168H 異状なし	○	○
	耐 候 性 (G R)	SSWOM照射	1000H照射	90	85
		海浜地区バクロ	沖永良部屋外バクロ 1ヶ年	80	75
	耐汚染性 (AL)		弊社東京事業所社屋外バクロ1ヶ年	○(-2.4)	○(2.6)

注1) TS工法U：エスコNBセーフティ+セラテクトマイルド中塗+セラテクトUマイルド上塗
注2) エスコNB+セラテクトU中塗+セラテクトU上塗

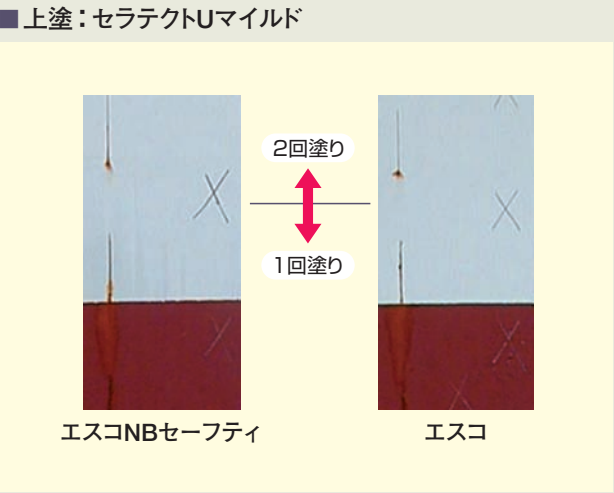
施工性

項 目	要求内容	TS工法 U	強溶剤 システム
塗シン可溶性	塗料用シンナーで可溶なこと	○	×
旧塗膜適正	バクロした各種塗膜面に塗り重ね可能	○	△
脆弱面適性	剥離紙に (JISK5625+JISK5516) を塗装。50℃で21日乾燥させ、カットを入れた塗面でリフティングが起きないこと	○	×

耐候性 (SSWOM照射)



防食性 (塩水噴霧 500時間)



テクトセーフティ工法 F

塗膜性能

試験項目		要求レベル	TS工法 F	強溶剤 システム	
単 独 膜	下 塗	乾 燥 性	半硬化 (20℃) 2H以内	○	○
		耐屈曲性	φ10mmの折り曲げに耐えうること	○	○
		耐衝撃性	1/2in×300g×500mm 異状なし	○	○
	上 塗	仕上がり性	60度鏡面光沢度 (%)	83	88
		乾 燥 性	半硬化 (20℃) 8H以内	○	○
		耐屈曲性	φ10mmの折り曲げに耐えうること	○	○
		耐衝撃性	1/2in×300g×500mm 異状なし	○	○
工 程 膜	各種素材適性		各種素材に安定した付着性を有すること	○	△
	耐塩水噴霧性		1000H 異状なし	○	○
	耐アルカリ性		飽和Ca(OH)2溶液 168H 異状なし	○	○
	耐 候 性 (G R)	スーパーUV照射	MV3000型 900H照射	80	68
		海浜地区バクロ	沖永良部屋外バクロ 3ヶ年	80	58
	耐汚染性 (AL)		弊社東京事業所社屋外バクロ1ヶ年	○(-2.5)	○(2.8)

注1) TS工法U：エスコNBセーフティ+セラテクトマイルド中塗+セラテクトFマイルド上塗
注2) 強溶剤システム：エスコNB+セラテクトF中塗+セラテクトF上塗

施工性

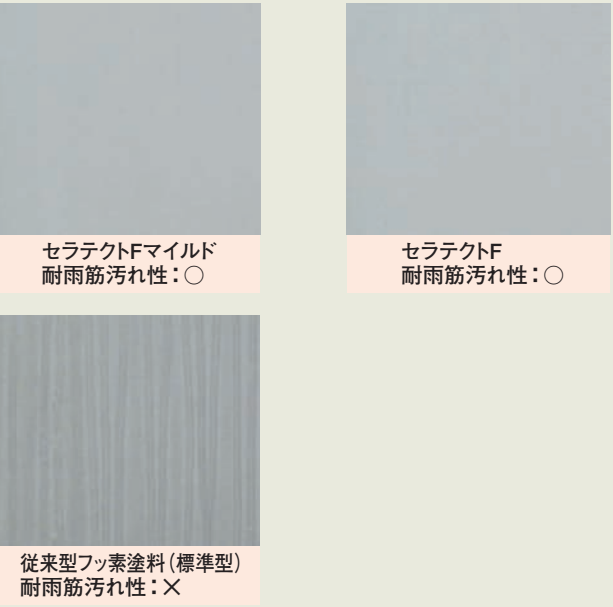
項 目	要求内容	TS工法 F	強溶剤 システム
塗シン可溶性	塗料用シンナーで可溶なこと	○	×
旧塗膜適正	バクロした各種塗膜面に塗り重ね可能	○	△
脆弱面適性	剥離紙に (JISK5625+JISK5516) を塗装。50℃で21日乾燥させ、カットを入れた塗面でリフティングが起きないこと	○	×

耐候性 (沖永良部バクロ3ヶ年)

セラテクトFマイルドは塗膜表面の樹脂劣化がほとんど認められない。

樹脂系	2次電子像	表面XMA (元素分析:F)	
セラテクトF			大
セラテクトFマイルド			小

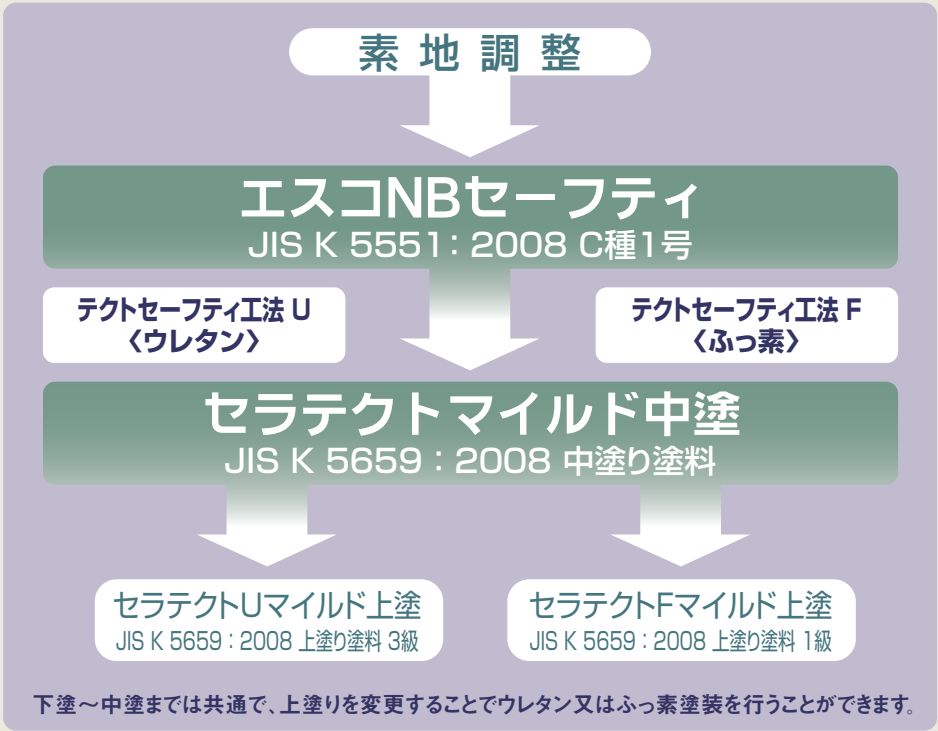
耐汚染性 (東京事業所バクロ1ヶ年)



環境にやさしいテクトセーフティ工法の標準塗装仕様。

テクトセーフティ工法U・F塗装仕様

工 程	製品名	塗装方法	標準塗付量 (kg/㎡/回)	膜 厚 (μm)	塗装間隔 (20℃)	希釈率 (%)
素地調整	電動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し発錆部はISO St-3まで除錆する。 活膜部は全面表面粗しを行う。					
補修塗り	エスコNBセーフティ	ハ ケ	0.24	(60)	8時間～1ヶ月	0～10 塗料用シンナーA
下 塗	エスコNBセーフティ	ハ ケ	0.24	60	8時間～1ヶ月	0～10 塗料用シンナーA
下 塗	エスコNBセーフティ	ハ ケ	0.24	60	8時間～1ヶ月	0～10 塗料用シンナーA
中 塗	セラテクトマイルド中塗	ハ ケ	0.14	30	4時間～10日	0～5 塗料用シンナーA
テクトセーフティ工法U 上 塗	セラテクトUマイルド上塗	ハ ケ	0.12	25	4時間～10日	0～5 塗料用シンナーA
又は						
テクトセーフティ工法F 上 塗	セラテクトFマイルド上塗	ハ ケ	0.12	25	6時間～7日	5～20 塗料用シンナーA



円滑な施工や安全・衛生のために、下記事項を確認ください。

施工上のポイント

■可使用時間

塗料の使用可能な時間（参考値）を表示します。

温 度		5℃	20℃	30℃
エスコNBセーフティ セラテクトマイルド中塗 セラテクトUマイルド上塗 セラテクトFマイルド上塗	可使用時間	12時間	7時間	5時間
		8時間	6時間	4時間
		8時間	6時間	4時間
		6時間	5時間	4時間

※可使用時間は、施工時の気温、保管状態、シンナーの希釈率などによって異なります。
※ベースと硬化剤を混合した塗料は、必ず、その日のうちに使いきってください。

■乾燥時間・塗装間隔

温 度			5℃	20℃	30℃
エスコNB セーフティ	乾燥時間	指 触	4時間	1.5時間	30分
		半硬化	16時間	5時間	3時間
	標準塗装 間隔	最 短	24時間	8時間	6時間
		最 長	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
セラテクト マイルド中塗	乾燥時間	指 触	30分	20分	10分
		半硬化	2時間	1時間	30分
	標準塗装 間隔	最 短	16時間	4時間	3時間
		最 長	10日	10日	7日
セラテクトU マイルド上塗	乾燥時間	指 触	30分	20分	10分
		半硬化	2時間	1時間	30分
	標準塗装 間隔	最 短	16時間	4時間	3時間
		最 長	—	—	—
セラテクトF マイルド上塗	乾燥時間	指 触	30分	20分	10分
		半硬化	2時間	1時間	30分
	標準塗装 間隔	最 短	16時間	6時間	4時間
		最 長	—	—	—

※同じ塗料または同系統の塗料を塗り重ねる場合です。
※乾燥時間は、施工時の環境、シンナーの希釈率などにによって異なります。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照下さい。
- 予防策
- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 対 応
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

- 保 管
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

- 廃 棄
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

- 施工後の安全
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



関西ペイント販売株式会社

本 社 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1
TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934

北海道販売部 〒061-3244 北海道石狩市新港南2丁目718-4
TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

東北販売部 〒983-0004 仙台市宮城野区岡田西町3-40
TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073

北関東販売部 〒321-0953 宇都宮市東宿郷6丁目1-7(ビックビー東宿郷5F)
TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
松本営業所 〒390-0833 長野県松本市双葉10-22(双葉ビルB棟2F202号)
TEL (0263) 26-3377 FAX (0263) 26-3322
新潟営業所 〒950-0088 新潟市中央区万代5丁目7-2(シアース万代 西309)
TEL (025) 246-3347 FAX (025) 241-9442
前橋営業所 〒371-0804 前橋市六供町1丁目13-1(YK第1ビル)
TEL (027) 243-0388 FAX (027) 243-0398

東京販売部 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1
TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935
横浜営業所 〒235-0036 横浜市磯子区中原1丁目2-31-204
TEL (045) 761-7390 FAX (045) 761-7395
千葉営業所 〒262-0033 千葉市花見川区幕張本郷6丁目27-18(YSビル4F)
TEL (043) 297-3611 FAX (043) 297-3710
川越営業所 〒350-1116 川越市寿町1丁目2255-1(豊栄ビル2F2号室)
TEL (049) 243-4351 FAX (049) 243-4356
静岡営業所 〒422-8008 静岡市駿河区栗原12-9
TEL (054) 262-4747 FAX (054) 262-0330

中部販売部 〒460-0007 名古屋市中区新栄1丁目29-25
TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
三重営業所 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1804-5
TEL (059) 397-3313 FAX (059) 397-4887

大阪販売部 〒541-0042 大阪市中央区今橋2丁目6-14
TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
神戸営業所 〒650-0046 神戸市中央区港島中町2丁目2-1-8-4
TEL (078) 303-2701 FAX (078) 303-8213
金沢営業所 〒924-0013 石川県白山市番匠町50-1
TEL (076) 275-7200 FAX (076) 275-7900

中国販売部 〒732-0052 広島市東区光町1丁目12-16
TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
岡山営業所 〒700-0976 岡山市北区辰巳42-109
TEL (086) 245-9455 FAX (086) 245-9460

四国販売部 〒763-8510 香川県丸亀市土器町北2丁目88
TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
高知営業所 〒780-8007 高知市仲田町2-28
TEL (088) 831-1577 FAX (088) 831-2528
松山営業所 〒790-0041 松山市保免上2丁目10-24
TEL (089) 934-9088 FAX (089) 934-9166

九州販売部 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目5-8
TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339
北九州営業所 〒807-0811 北九州市八幡西区洞北町2-10
TEL (093) 601-1336 FAX (093) 601-1371
熊本営業所 〒861-4101 熊本市近見8丁目14-66
TEL (096) 358-4011 FAX (096) 358-4014
鹿児島営業所 〒891-0114 鹿児島市小松原1丁目69-5
TEL (099) 266-2960 FAX (099) 266-2962
沖縄営業所 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3丁目9-1(勢理客産業ビル4F)
TEL (098) 870-8782 FAX (098) 870-8652

ご用命は